

令和6年度美馬市地域交流センター一瓦改修その他工事 (2期工事)

図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺
A-01	タイトル・図面目録	—			
A-02	建築改修工事特記仕様書 1	—			
A-03	建築改修工事特記仕様書 2	—			
A-04	配置図・附近見取り図	1:300			
A-05	仮設計画図	1:300			
A-06	B 1 階平面図	<既存参考図>			
A-07	1 階平面図	<既存参考図>			
A-08	2 階平面図	<既存参考図>			
A-09	P 1 ・ P 2 階平面図	<既存参考図>			
A-10	断面図	<既存参考図>			
A-11	既存屋根伏図	1:200			
A-12	既存立面図 1	1:200			
A-13	既存立面図 2	1:200			
A-14	改修屋根伏図	1:200			
A-15	改修立面図 1	1:200			
A-16	改修立面図 2	1:200			
A-17	部分詳細図 1	1:30 ・ 1:10			
A-18	部分詳細図 2	1:20 ・ 1/10			

取 項 目	特 記 事 項	取 項 目	特 記 事 項	取 項 目	特 記 事 項	取 項 目	特 記 事 項																																																																						
4. 養生	◎既存部分の養生範囲は屋根面(施工範囲)、軒先(施工範囲)より巾1.5mの範囲とする。(養生方法:シート養生)	5. 屋根及び1次改修工事	◎屋根葺き材、炭結金物については、下地も含め安全性を確認し、監督員の承認を得ること。 ◎標準仕様書以外の工法は、専門業者の仕様による。 ◎建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 $V_{30} = (36 \frac{m}{s})$ 地表面粗度区分 (I・II・III・IV) 積雪区分 建設省告示第1455号 別表(35)																																																																										
5. 監督員事務所	◎監督員事務所は設けない	1. 一般事項																																																																											
6. 工事用水、電力等	◎既存電力利用(口出来る ■出来ない)、電力料金(■有償 □無償) ただし、施設管理者と協議すること。 ◎既存用水利用(口出来る ■出来ない)、用水料金(■有償 □無償)	2. 粘土瓦葺	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>大きさ</th> <th>産地</th> <th>投物瓦の種類の種類</th> <th>禁止め瓦の使用</th> <th>棟の工法</th> <th>瓦柱木の材質</th> <th>寸法</th> <th>棟補強用材の材質</th> <th>寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種別・積瓦</td> <td>既存積瓦</td> <td>洋瓦</td> <td>洋瓦</td> <td>洋瓦</td> <td>洋瓦</td> <td>洋瓦</td> <td>洋瓦</td> <td>洋瓦</td> <td>洋瓦</td> </tr> <tr> <td>洋瓦</td> </tr> <tr> <td>丸瓦</td> </tr> <tr> <td>平唐草瓦</td> </tr> <tr> <td>平瓦</td> </tr> <tr> <td>のし瓦</td> </tr> </tbody> </table>	種類	大きさ	産地	投物瓦の種類の種類	禁止め瓦の使用	棟の工法	瓦柱木の材質	寸法	棟補強用材の材質	寸法	種別・積瓦	既存積瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	丸瓦	平唐草瓦	平瓦	のし瓦																																								
種類	大きさ	産地	投物瓦の種類の種類	禁止め瓦の使用	棟の工法	瓦柱木の材質	寸法	棟補強用材の材質	寸法																																																																				
種別・積瓦	既存積瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦																																																																				
洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦	洋瓦																																																																				
丸瓦	丸瓦	丸瓦	丸瓦	丸瓦	丸瓦	丸瓦	丸瓦	丸瓦	丸瓦																																																																				
平唐草瓦	平唐草瓦	平唐草瓦	平唐草瓦	平唐草瓦	平唐草瓦	平唐草瓦	平唐草瓦	平唐草瓦	平唐草瓦																																																																				
平瓦	平瓦	平瓦	平瓦	平瓦	平瓦	平瓦	平瓦	平瓦	平瓦																																																																				
のし瓦	のし瓦	のし瓦	のし瓦	のし瓦	のし瓦	のし瓦	のし瓦	のし瓦	のし瓦																																																																				
7. 工事車両駐車場 資材置場 現場事務所用地等	◎同用地は、(■表示の場所に □用意していないので業者にて)設けること。 ただし、施設管理者と協議すること。	3. 谷樋改修	◎建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の取付、固定方法を施工計画書として提出する。 ◎瓦は既存瓦を再利用することを原則とするが、損傷部分の取替を20%程度見込むものとする。 ◎瓦の大きさ、産地は既存合わせを原則とするが、実情に沿わない場合は係員と協議すること。 ◎本工事は瓦の落下防止対策が主たる目的であるため、各瓦は積層材に鋼線及びワットヒスを用いて固定すること、各部の固定方法は図示による。																																																																										
8. 仮設トイレの洋式化	◎受注者は当初請負対象金額(設計金額)5千万円未満の工事において、仮設トイレを設置する場合、原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ(快通トイレ)」を設置しなければならない。 ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。 ◎受注者は、当初請負対象金額(設計金額)5千万円以上の工事において仮設トイレを設置する場合、原則として「快通トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ(快通トイレ)」を設置しなければならない。 ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。 ◎受注者は、仮設トイレを設置した場合、「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。 □洋式トイレとは、和式トイレの便座部分を洋式化したトイレのこと。 ○快通トイレとは、洋式トイレのうち、防臭対策・施設強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。	4. たてとい(1期工事)	◎既存谷樋(銅板製)をコウリンで補修する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>製造所</th> <th>下地調整</th> <th>工 程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>たてとい</td> <td>株式会社トコノグツ</td> <td>下地清掃</td> <td>2 回り</td> </tr> </tbody> </table>	種別	製造所	下地調整	工 程	たてとい	株式会社トコノグツ	下地清掃	2 回り																																																																		
種別	製造所	下地調整	工 程																																																																										
たてとい	株式会社トコノグツ	下地清掃	2 回り																																																																										
3. 防水改修工事	◎保護層、防水層等を撤去した結果、下地等が設計図書と異なる場合は監督員と協議すること。		◎とい受金物 形状() 取付間隔(1200以内) ◎材種(スチール) 径(100) ◎硬質強化ビニル膜2層の1本の長さは、10m以内とし、伸縮に対応する工法を選択すること。 ◎スチール+タフの種別(引引き、引引き) ◎スチール+タフ 及び引引きは、取付完了後、清掃し、透水試験を行う。																																																																										
1. 一般事項	◎工 法:POX 種 別: X-2 ◎塗膜を形成する材料は、JIS A 6021の規格品とする。 ◎プライマー: 耐摩耗専用プライマー、補強布、接着剤、透気緩衝シート、シーリング材、仕上塗材等は主材料製造所の指定製品とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>仕 上 塗 料</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>POX</td> <td>X-1</td> <td>X-1</td> <td>X-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>Y-2</td> <td>補修層(剥離改修部分)、埋置谷樋</td> <td>主材料製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>L4X</td> <td>X-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>X-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P1Y</td> <td>Y-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P2Y</td> <td>Y-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料	備 考	POX	X-1	X-1	X-1			Y-2	補修層(剥離改修部分)、埋置谷樋	主材料製造所の仕様		L4X	X-1					X-2				P1Y	Y-2				P2Y	Y-2																																												
工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料	備 考																																																																									
POX	X-1	X-1	X-1																																																																										
	Y-2	補修層(剥離改修部分)、埋置谷樋	主材料製造所の仕様																																																																										
L4X	X-1																																																																												
	X-2																																																																												
P1Y	Y-2																																																																												
P2Y	Y-2																																																																												
2. 塗膜防水	◎特記仕様書、改修仕様及び仕様以外は、主材料製造所の仕様による。																																																																												
3. シーリング	◎シーリング材は、JIS A 5758の規格品とする。 ◎プライマーは、接着体及びシーリングの種類により使い分けること。 ◎監督員に、シーリング材の有効期限が切れていないことの確認を受けること。 ◎シーリング面への仕上塗材仕上げ等を(■行う、□行わない)。 ◎外部に面するシーリング材は、施工に先立ち(■簡易接着性試験、□引張接着性試験)を行う。 ◎種類及び施工箇所 <table border="1"> <thead> <tr> <th>記 号</th> <th>材 質</th> <th>既 存</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>改 修 工 法</th> <th>寸 法</th> <th>接着試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WS-2</td> <td>2成分変成シリコーン</td> <td>WS-2</td> <td>両側又は両面</td> <td>打替え</td> <td>10×10</td> <td>簡易接着性試験</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>〃</td> <td>裏面防水上層部</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>SR-2</td> <td>2成分シリコーン系</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	記 号	材 質	既 存	施 工 箇 所	改 修 工 法	寸 法	接着試験	WS-2	2成分変成シリコーン	WS-2	両側又は両面	打替え	10×10	簡易接着性試験			〃	裏面防水上層部	〃	〃	〃	SR-2	2成分シリコーン系						PU-2	ポリウレタン系																																														
記 号	材 質	既 存	施 工 箇 所	改 修 工 法	寸 法	接着試験																																																																							
WS-2	2成分変成シリコーン	WS-2	両側又は両面	打替え	10×10	簡易接着性試験																																																																							
		〃	裏面防水上層部	〃	〃	〃																																																																							
SR-2	2成分シリコーン系																																																																												
PU-2	ポリウレタン系																																																																												
4. 防水保証	◎防水工完了後は、メーカー、元請業者、下請業者の3者連名による(3・5・7・10)年間の防水工事性能保証書を提出すること。																																																																												
4. 塗装改修工事	◎防水材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。 ◎塗料はホルマリン不発出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。 ◎ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防霉剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承認を得るものとする。																																																																												
1. 一般事項																																																																													
2. 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">下地調整</th> <th colspan="2">さび止め塗料</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	種 別		下地調整	さび止め塗料		備 考	屋外	屋内	屋外	屋内																																																																	
区 分	種 別		下地調整	さび止め塗料		備 考																																																																							
	屋外	屋内		屋外	屋内																																																																								
3. フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>種 別</th> <th>下地調整</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	種 別	下地調整	備 考																																																																								
区 分	種 別	下地調整	備 考																																																																										
4. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(MAD)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>種 別</th> <th>下地調整</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホ-1'面</td> <td>B種</td> <td>R B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	種 別	下地調整	備 考	ホ-1'面	B種	R B種																																																																					
区 分	種 別	下地調整	備 考																																																																										
ホ-1'面	B種	R B種																																																																											
5. 耐候性塗料塗り(OP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">下地調整</th> <th colspan="2">さび止め塗料</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基盤メッキ面</td> <td>B種</td> <td></td> <td>R2種</td> <td>3種H18</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄部</td> <td>B種</td> <td></td> <td>R2種</td> <td>3種H18</td> <td>A種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	種 別		下地調整	さび止め塗料		備 考	屋外	屋内	屋外	屋内	基盤メッキ面	B種		R2種	3種H18			鉄部	B種		R2種	3種H18	A種																																																				
区 分	種 別		下地調整	さび止め塗料		備 考																																																																							
	屋外	屋内		屋外	屋内																																																																								
基盤メッキ面	B種		R2種	3種H18																																																																									
鉄部	B種		R2種	3種H18	A種																																																																								
6. つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">下地調整</th> <th colspan="2">さび止め塗料</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タテ種</td> <td>屋外</td> <td></td> <td>B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	種 別		下地調整	さび止め塗料		備 考	屋外	屋内	屋外	屋内	タテ種	屋外		B種																																																													
区 分	種 別		下地調整	さび止め塗料		備 考																																																																							
	屋外	屋内		屋外	屋内																																																																								
タテ種	屋外		B種																																																																										
7. 合成樹脂エマルジョンペイント塗料(EP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>種 別</th> <th>下地調整</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	種 別	下地調整	備 考																																																																								
区 分	種 別	下地調整	備 考																																																																										

GENERAL PLANNING	
EXECUTIVE DESIGN	

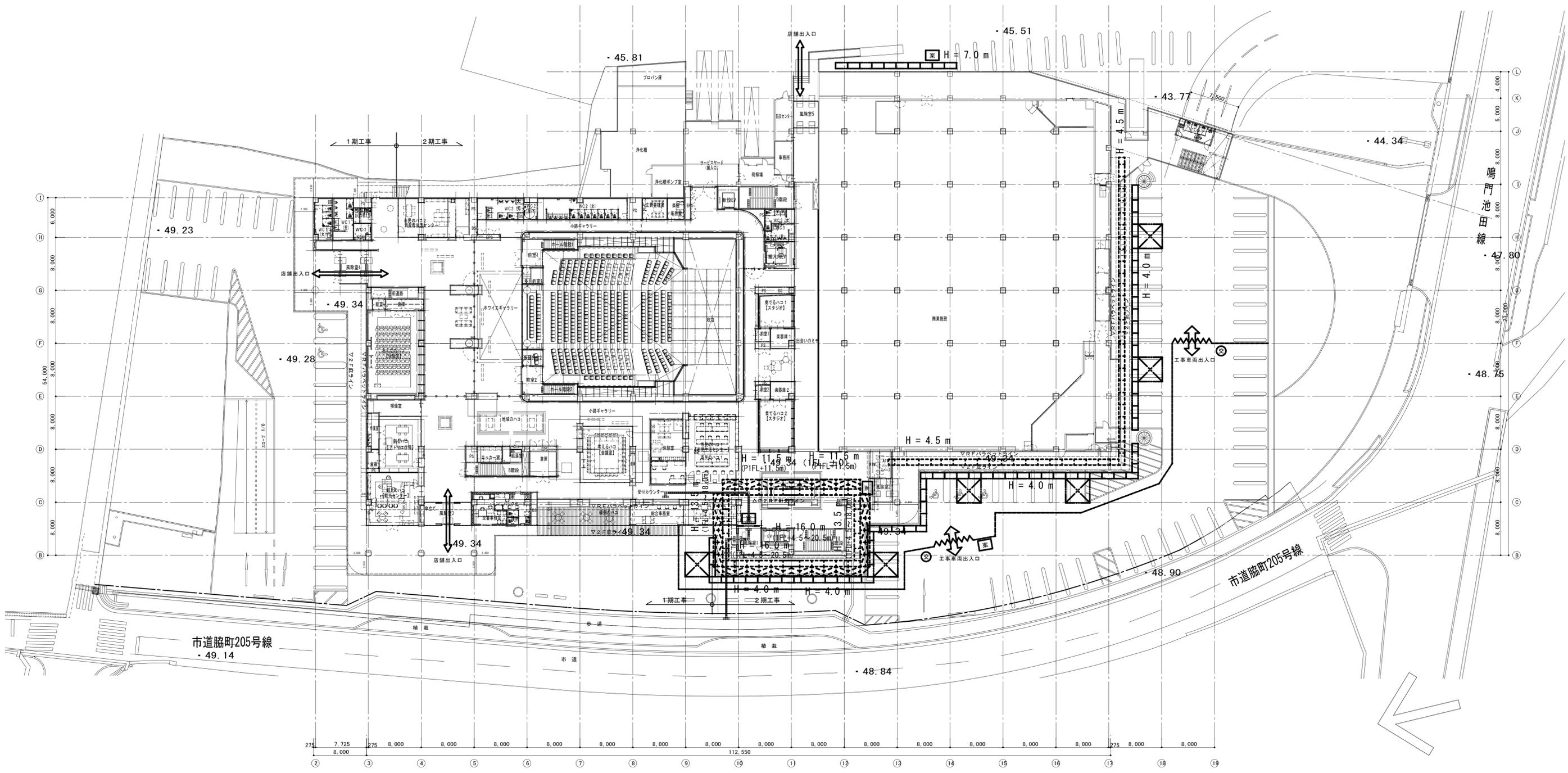


TITLE	美馬市地域交流センター瓦改修その他工事(2期工事)	DATE	
DRAWING	建築改修工事特記仕様書 3	SCALE	
CHECK		NO	

工事概要(2期工事)									
符号	区分	部位	符号	概要	符号	区分	部位	符号	概要
1	瓦葺き直し工事	※既存瓦の葺き直しとするが損傷部分は新品に取替(約20%程度を見込む)とする	2	屋上防水改修工事	2階陸屋根	A2a	既存押えコンクリート 水洗い、下地補修・下地調整 塗膜防水防汚仕上		
		西側塔屋			A3a	棟、ケラバ、軒先瓦 葺き直し緊結固定、 南蛮漆喰押え 損傷部は取替			
		庇			Ca	雁渡、軒先、隅棟、雨押え瓦 葺き直し緊結固定、 南蛮漆喰押え 損傷部は取替 谷樋 下地調整、コーティング補修			
			3	その他工事	2階陸屋根	Ja	塩ビ製スレーナキャップ 撤去新設		

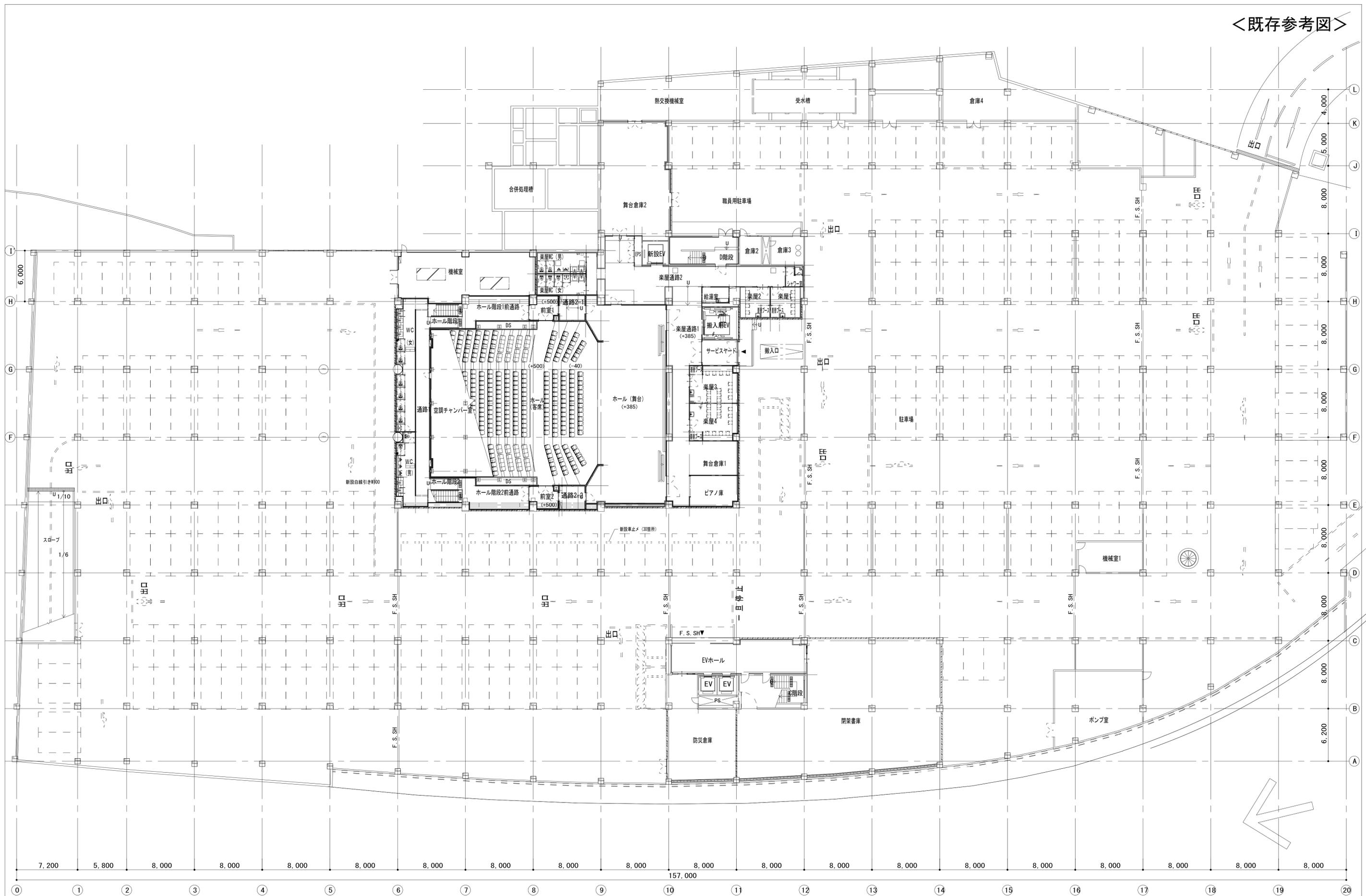
- 凡例
- カスゲート W=6m H=1.8m
 - ガードフェンス
 - 枠組本足場
 - 枠組本足場(庇上部)
 - 枠組柵足場
 - 朝顔養生
 - 工事案内板
 - 交通誘導員 150人

凡例
・49.34 現況レベルを示す



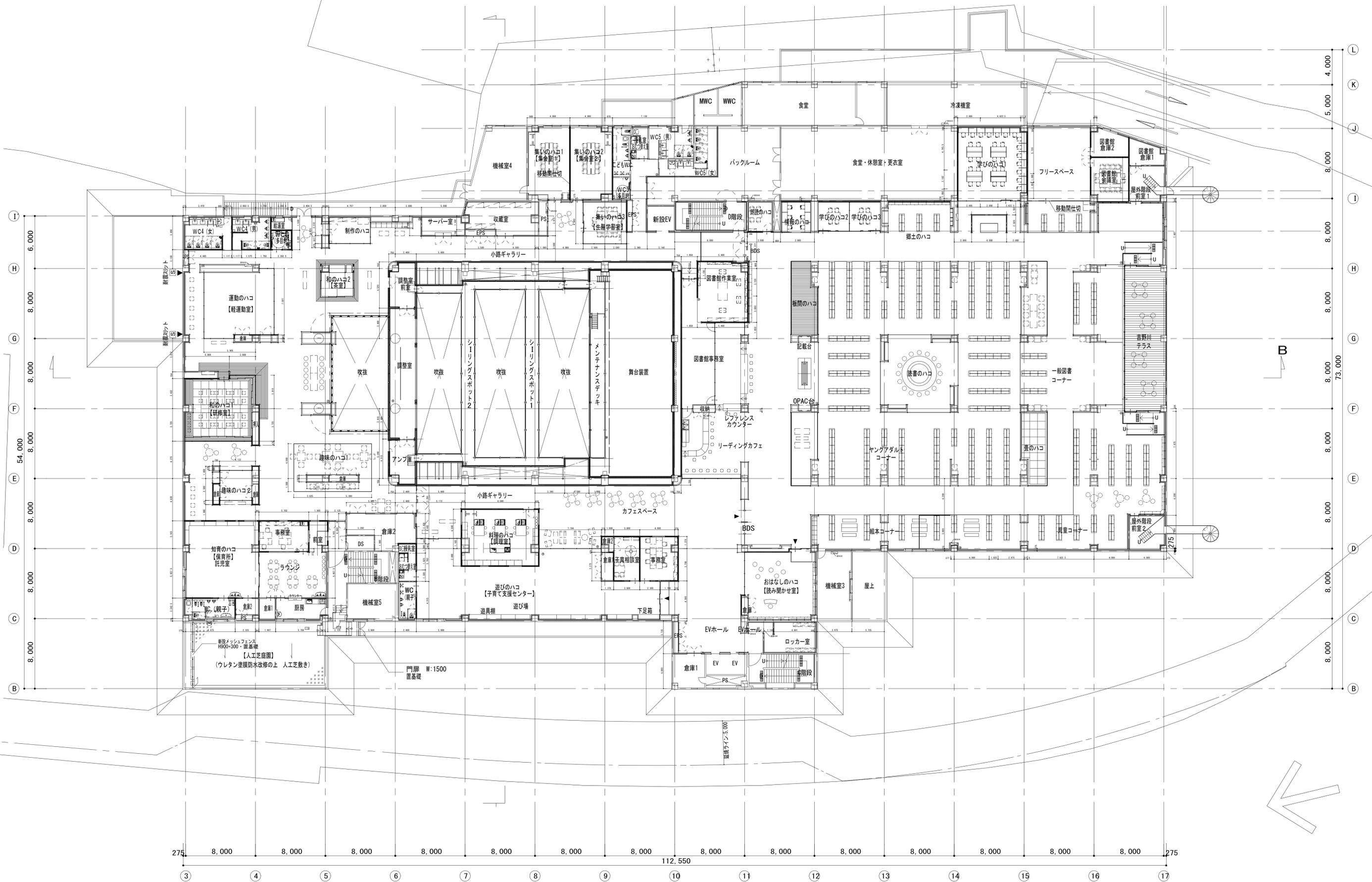
GENERAL PLANNING	
EXECUTIVE DESIGN	

<p>株式会社 平島弘之 + TEAM28 HIROYUKI HEISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES</p>	TITLE	美馬市地域交流センター瓦改修その他工事(2期工事)	DATE	
	DRAWING	仮設計計画図	SCALE	1:300, 1:600
	CHECK		NO.	A-05



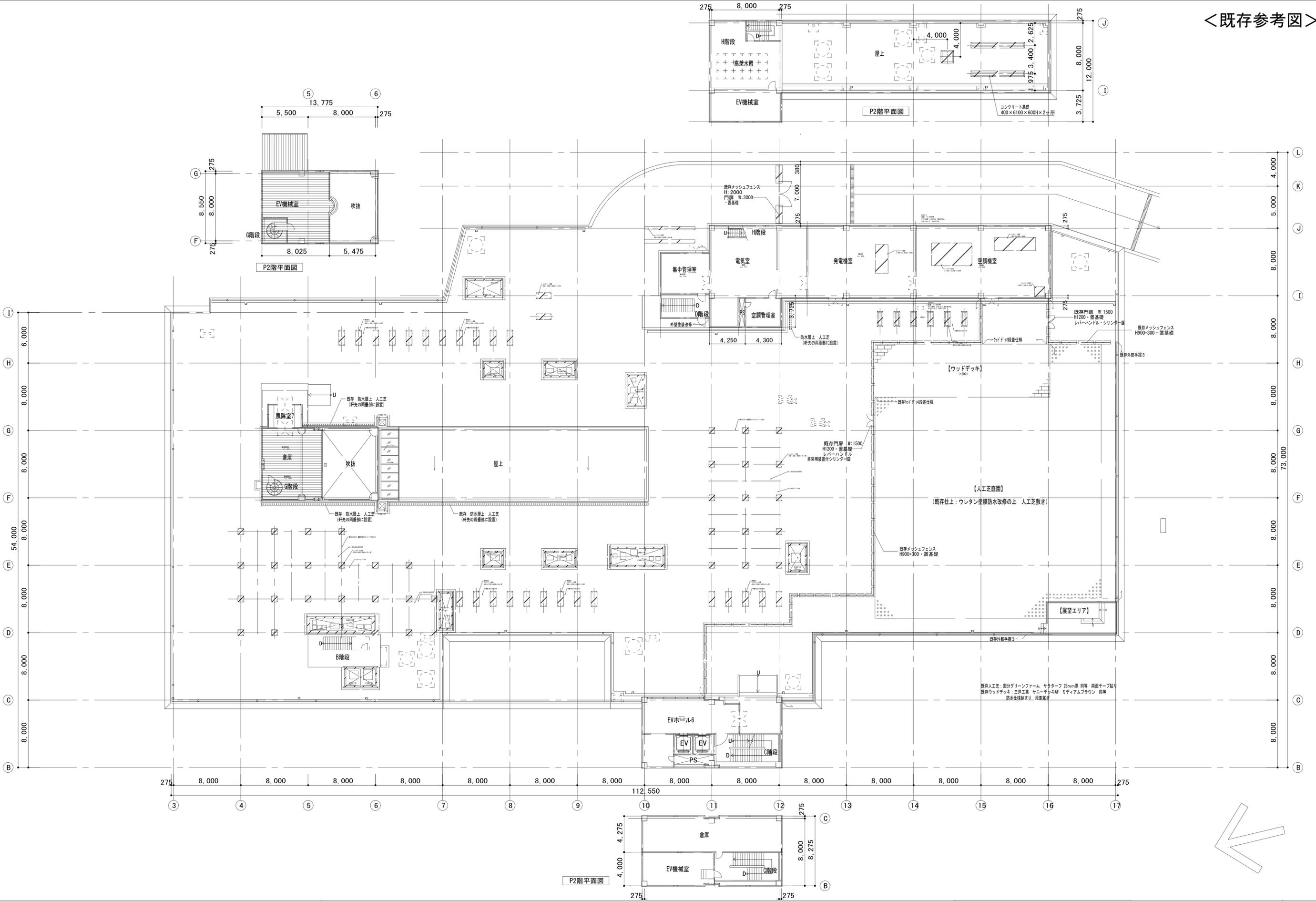
GENERAL PLANNING	
EXECUTIVE DESIGN	

<p>株式会社 平島弘之 + TEAM28 HIROYUKI HEISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES</p>	TITLE	美馬市地域交流センター瓦改修その他工事 (2期工事)	DATE	
	DRAWING	地下1階平面図	SCALE	1:200, 1:400
	CHECK		NO.	A-06



GENERAL PLANNING	
EXECUTIVE DESIGN	

TITLE	美馬市地域交流センター瓦改修その他工事 (2期工事)	DATE	
DRAWING	2階平面図	SCALE	1:200, 1:400
CHECK		NO.	A-08

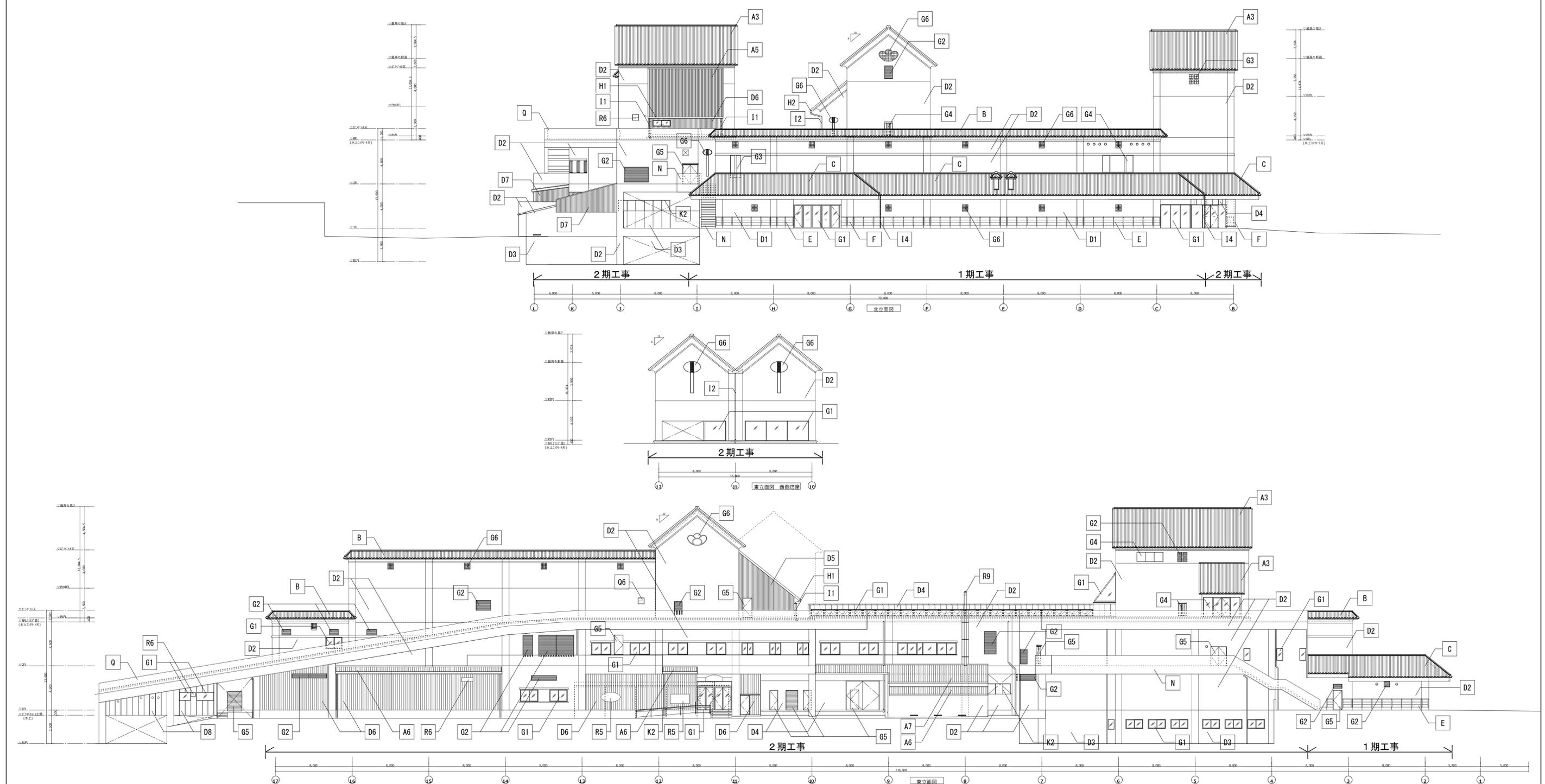


GENERAL PLANNING	
EXECUTIVE DESIGN	

TITLE	美馬市地域交流センター仮設改修その他工事 (2期工事)	DATE	
DRAWING	P 1 - P 2 階平面図	SCALE	1:200, 1:400
CHECK		NO.	A-09

外部仕上表(既存)

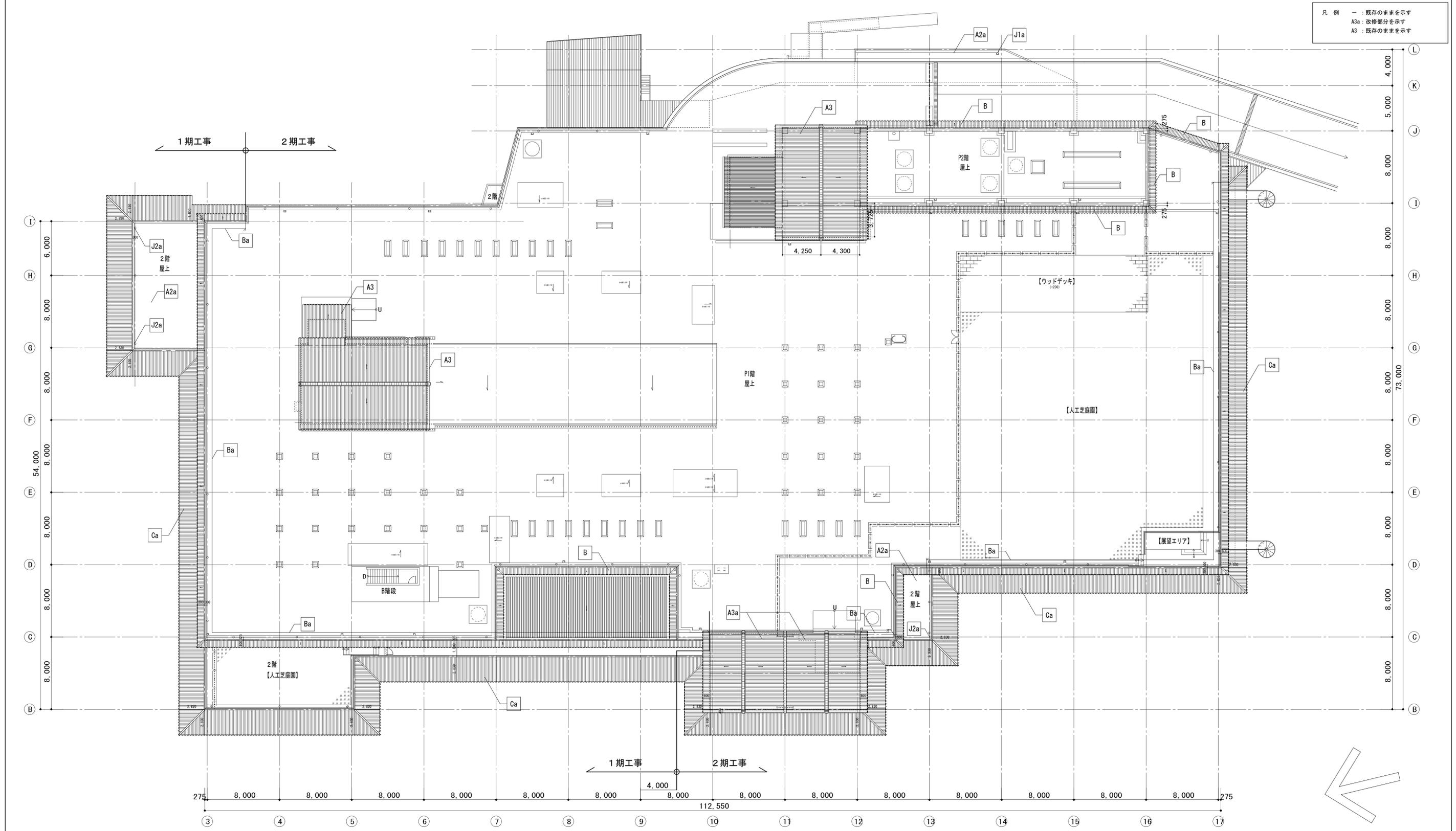
部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
A1 屋根1	コンクリート金ゴ子仕上、757防水層(A-2) t0.15k ² 、リフレクティブル、t70押えコンクリート仕上 (溶接金網4φ-150□)、伸縮目地切φ3000立上共、57 ² 下断熱材後張りt407 ² -L ² リフレク 塗膜防水防漏仕上	D1 外壁1 (庇より下)	コンクリート打放し 目地切 777 ² -L ² 吹付 ビニ樹脂系つや消し塗料吹付(四国化研ナカベ-ス)	D8 外壁8 (20 ² 下部)	鉄骨下地 押出成形メタ板	I4 壁脚4	鑄鉄製クサリ種(庇谷部分)
A2 屋根2	コンクリート金ゴ子仕上、757防水層(A-2) t0.15k ² 、リフレクティブル、t70押えコンクリート仕上 (溶接金網4φ-150□)、伸縮目地切φ3000立上共、57 ² 下断熱材後張りt407 ² -L ² リフレク	D2 外壁2 (庇より上)	コンクリート打放し 目地切 777 ² -L ² 吹付 777 ² 系吹付材(四国化研ナカベ)	E 巾木・腰壁	コンクリート打放し (一部杉板仮枠) 777 ² -L ² 吹付	J ルーフレイン	塩ビ製スレーチン
A3 屋根3	コンクリート木ゴ子仕上 t30、東邦スチール金ゴ子仕上、757 ² 防水層 t22kg敷、淡路本瓦葺 棟のし瓦 3段大丸雁振	D3 外壁3 (B1階他)	コンクリート打放し 目地切 777 ² -L ² 吹付	F 柱	コンクリート打放し 杉板仮枠 777 ² -L ² 吹付	K1~2 手摺1~2	K1: 鋼製下地+人工木 K2: スチール製
A4 屋根4	鉄骨下地 ALC板 t100葺 塗膜防水	D4 外壁4 (増築部)	鉄骨下地 ALC t100張 アクリル樹脂塗料塗	G1~3 開口部	G1: アルミサッシ二次電解着色 G2: アルミガラリ二次電解着色 G3: ガラスブロック	L 丸環	鋼製 SOP塗
A5~7 屋根5~7	A5: 鉄骨下地 杉板 ² リウム小波板葺 A6: 鉄骨下地 折板葺 A7: 鉄骨下地 波形スレート葺	D5 外壁5 (増築部)	鉄骨下地 杉板 ² リウム小波板葺	G4~6 開口部	G4: スチール FP塗、SOP塗 G5: スチール7・スチール7 FP塗、SOP塗 G6: スチールスチール面格子 FP塗 (FIX窓)	M ハト小屋	コンクリート金ゴ子仕上、塗膜防水
B バルコニー	天端 淡路いぶし瓦葺 内側 コンクリート打放し 777 ² 系吹付材	D6 外壁6 (増築部)	鉄骨下地 角波サイディング張	H1~2 軒種1・2	H1: 塩ビ製丸種 W200 H2: 塩ビ製丸種 W150	N 屋外通路1 屋外階段1	床 モルタル金ゴ子仕上 階段床 モルタル金ゴ子仕上 段鼻 磁器タイル 壁手摺・壁 コンクリート打放し 777 ² 吹付吹付 天端 モルタル金ゴ子 VP
C 庇	コンクリート木ゴ子仕上 t30、東邦スチール金ゴ子仕上、757 ² 防水層 t22kg敷、淡路本瓦葺 棟のし瓦 3段大丸雁振 天井 t6 777 ² 系 ² FP、一部コンクリートビニ樹脂系つや消し塗料吹付(四国化研ナカベ-ス)	D7 外壁7 (増築部)	鉄骨下地 波形スレート葺	I1~3 壁脚1~3	I1: 塩ビ製丸種 φ150 I2: 塩ビ製丸種 φ100 I3: 塩ビ製丸種 φ75	O 屋外通路2	床 鋼製板 t4.5 SOP塗 壁手摺・壁 鋼製下地 777 ² 系 ² 吹付吹付張 手摺 スチール製



外部仕上表(改修)

部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
A1 屋根1	—	A4~8	A4: — A5: — A6: — A7: — A8: —	Ca 庇	屋根、軒先、隅棟、雨押え瓦 葺き直し緊結固定、南面漆喰押え 損傷部は取替 雨押え板金既存撤去、新設 谷樋 下地調整、コーティング補修	K1 手摺1	K1: —
A2a 屋根2	既存押えコンクリート 水洗い、下地補修・下地調整 塗膜防水防汚仕上	屋根4~8	—	H1~2 軒樋1・2	H1: — H2: —	K2 手摺2	K2: —
A3a 屋根3	棟、ケラバ、軒先瓦 葺き直し緊結固定、南面漆喰押え 損傷部は取替 谷樋 軒先瓦撤去 水洗い、下地調整、塗膜防水 軒先瓦復旧(1期工事)	Ba ハット	—	J1a~2a ルーフドレン	J1a: 塩ビ製スレナキップ Φ100 引引用 撤去新設 J2a: 塩ビ製スレナキップ Φ100 引引用 撤去新設	L 丸環	—
						M ハト小屋	—
							N 屋外通路1
							O 屋外通路2
							屋外階段2
							Q スロープ

凡例
 — : 既存のままを示す
 A3a : 改修部分を示す
 A3 : 既存のままを示す



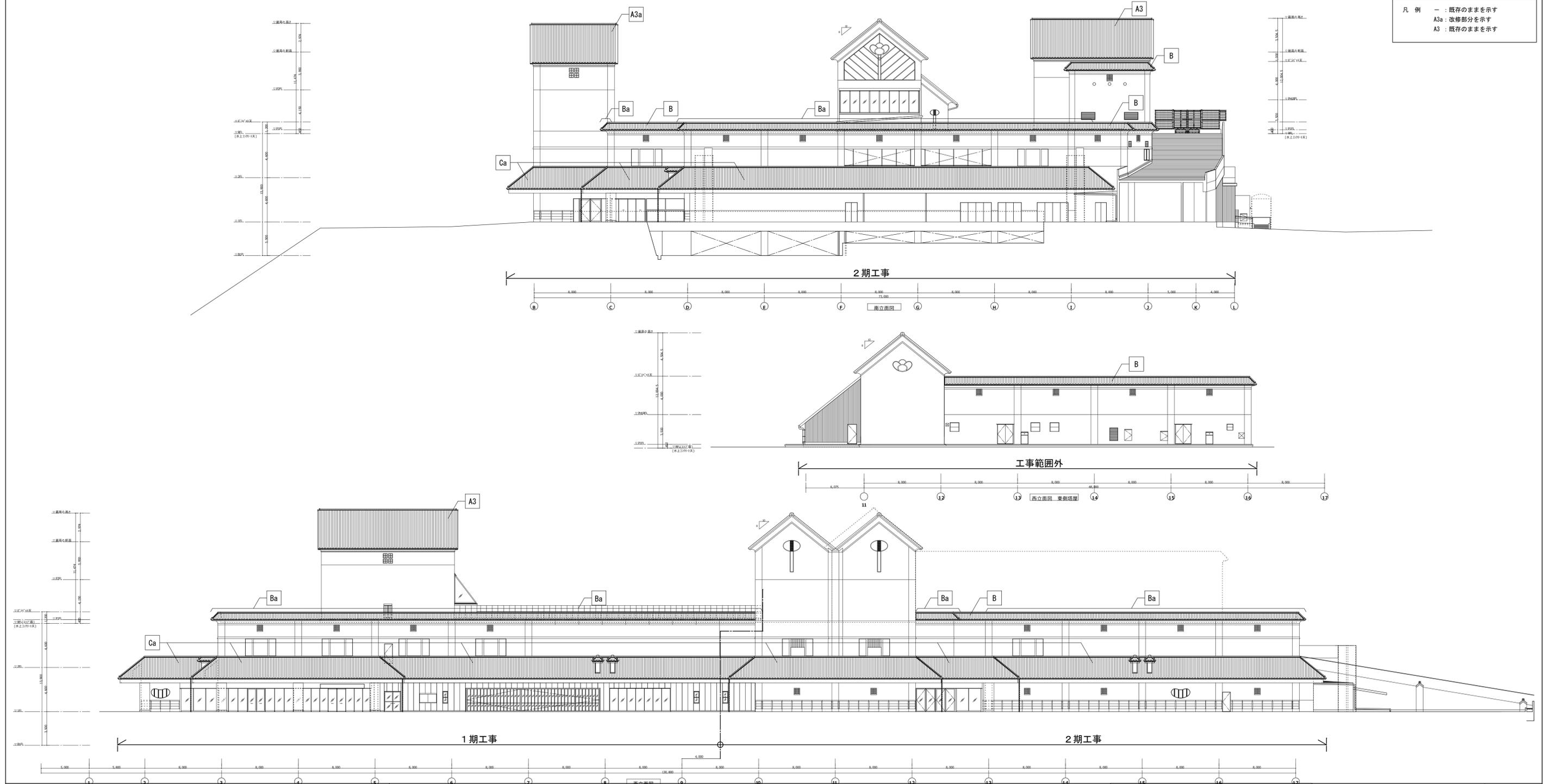
GENERAL PLANNING	
EXECUTIVE DESIGN	

<p>株式会社 平島弘之 + TEAM28 HIROYUKI HEISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES</p>	TITLE 美馬市地域交流センター瓦改修その他工事(2期工事)	DATE
	DRAWING 改修屋根伏図	SCALE 1:200, 1:400
	CHECK	NO
		A-14

外部仕上表(改修)

部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
A1 屋根1	—	D1 外壁1 (応より下)	—	D8 外壁8 (20-F) 下部	—	I4 壁礎4	—	P ピロティ	—
A2a 屋根2	既存押えコンクリート 水洗い、下地補修・下地調整 塗膜防水防汚仕上	D2 外壁2 (応より上)	—	E 巾木・腰壁	—	Ja ルーフドレイン	塩ビ製スレートキャップ 撤去新設	Q スロープ	—
A3a 屋根3	棟、ケラバ、軒先瓦 葺き直し緊結固定、南面塗装押え 損傷部は取替 谷樋 軒先瓦撤去 水洗い、下地調整、塗膜防水 軒先瓦復旧(1期工事)	D3 外壁3 (B1階他)	—	F 柱	—	K1~2 手摺1~2	K1: — K2: —	R その他	R1: — R2: — R3: — R4: — R5: — R6: — R7: — R8: —
A4 屋根4	—	D4 外壁4 (増築部)	—	G1~3 開口部	G1: — G2: — G3: —	L 丸環	—		
A5~7 屋根5~7	A5: — A6: — A7: —	D5 外壁5 (増築部)	—	G4~6 開口部	G4: — G5: — G6: —	M ハト小屋	—		
Ba パナソット	屋根、軒先、隅棟瓦 葺き直し緊結固定、南面塗装押え 損傷部は取替	D6 外壁6 (増築部)	—	H1~2 軒樋1・2	H1: — H2: —	N 屋外通路1 屋外階段1	—		
Ca 庇	屋根、軒先、隅棟、雨押え瓦 葺き直し緊結固定、南面塗装押え 損傷部は取替 雨押え板金既存撤去、新設 谷樋 下地調整、コーティング 補修	D7 外壁7 (増築部)	—	I1~3 壁礎1~3	I1: — I2a: 塩ビ製丸樋 Φ100、支持金物共 撤去新設 EP-G産 I3: —	O 屋外通路2 屋外階段2	—		

凡例
 — : 既存のままを示す
 A3a : 改修部分を示す
 A3 : 既存のままを示す



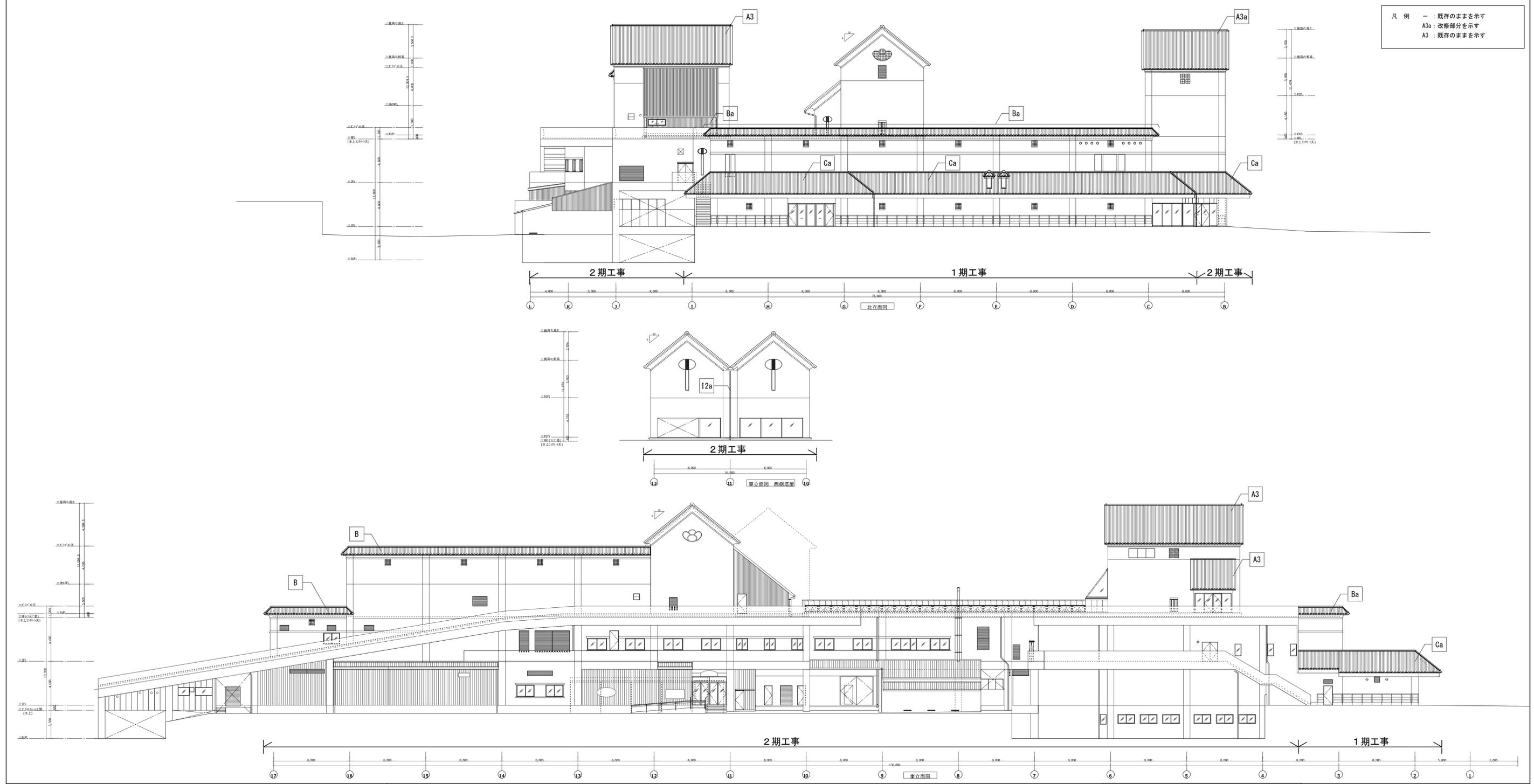
GENERAL PLANNING	
EXECUTIVE DESIGN	

<p>株式会社 平島弘之 + TEAM28 HIROYUKI HEISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES</p>	TITLE 美馬市地域交流センター瓦改修その他工事 (2期工事)	DATE
	DRAWING 改修立面図 1	SCALE 1:200, 1:400
	CHECK 一級建築士 第15242号 鶴山仁志	NO. A-15

外部仕上表(改修)

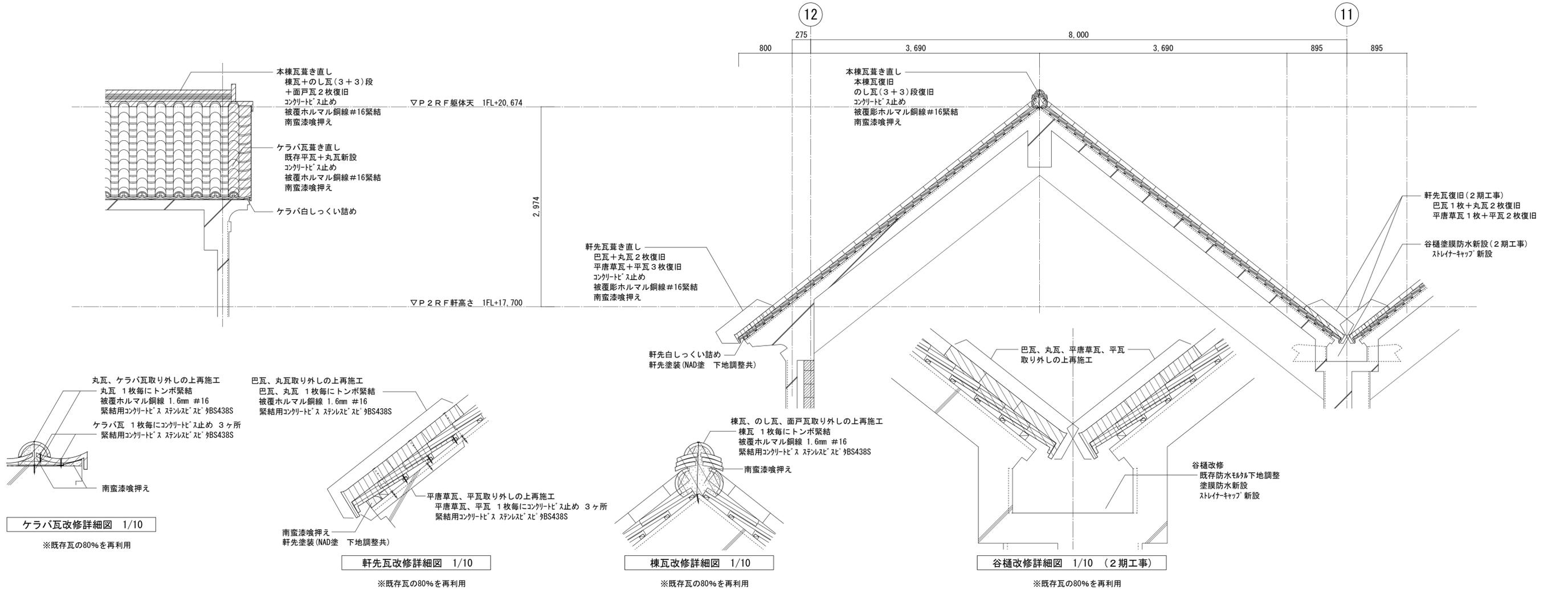
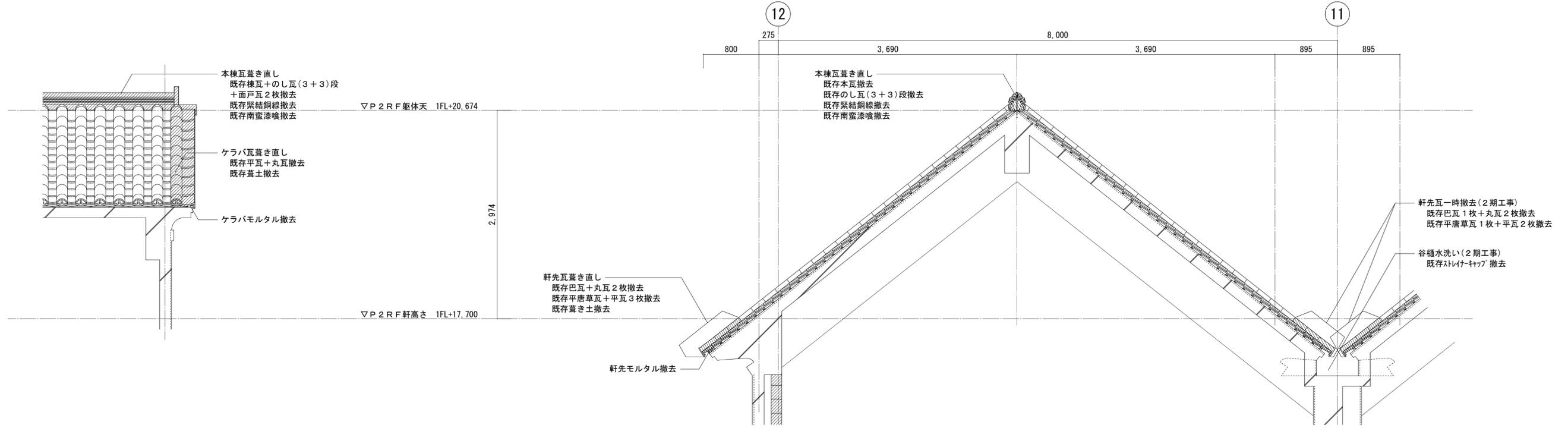
部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
A1 屋根1	—	D1 外壁1 (庇より下)	—	D8 外壁8 (20-F)下部	—	I4 壁補4	—	P ピロティ	—
A2a 屋根2	既存押えコンクリート 水洗い、下地補修・下地調整 塗膜防水防汚仕上げ	D2 外壁2 (庇より上)	—	E 巾木・腰壁	—	Ja ルーフドレイン	塩ビ製スレーナキップ 撤去新設	Q スロープ	—
A3a 屋根3	棟、ケラバ、軒先瓦 葺き直し緊結固定、南面漆喰押え 損傷部は取替 谷樋 軒先瓦撤去 水洗い、下地調整、塗膜防水 軒先瓦復旧(1期工事)	D3 外壁3 (B1階他)	—	F 柱	—	K1~2 手摺1~2	K1: — K2: —	R その他	R1: — R2: — R3: — R4: — R5: — R6: — R7: — R8: —
A4 屋根4	—	D4 外壁4 (増築部)	—	G1~3 開口部	G1: — G2: — G3: —	L 丸環	—		
A5~7 屋根5~7	A5: — A6: — A7: —	D5 外壁5 (増築部)	—	G4~6 開口部	G4: — G5: — G6: —	M ハト小屋	—		
Ba バルコニー	庇板、軒先、隅棟瓦 葺き直し緊結固定、南面漆喰押え 損傷部は取替	D6 外壁6 (増築部)	—	H1~2 軒樋1・2	H1: — H2: —	N 屋外通路1 屋外階段1	—		
Ca 庇	庇板、軒先、隅棟、雨押え瓦 葺き直し緊結固定、南面漆喰押え 損傷部は取替 雨押え板金既存撤去、新設 谷樋 下地調整、コーティング補修	D7 外壁7 (増築部)	—	I1~3 壁補1~3	I1: — I2a: 塩ビ製丸樋 φ100、支持金物共 撤去新設 EP-G塗 I3: —	O 屋外通路2 屋外階段2	—		

凡例
 — : 既存のままを示す
 A3a : 改修部分を示す
 A3 : 既存のままを示す



GENERAL PLANNING	
EXECUTIVE DESIGN	

 <p>株式会社 平島弘之 + TEAM28 HIROYUKI HEISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES</p>	TITLE 美馬市地域交流センター瓦改修その他工事 (2期工事)	DATE
	DRAWING 改修立面図 2	SCALE
	CHECK 一般建築士 第112421号 嶋山仁志	NO. A-16
	1:200, 1:400	



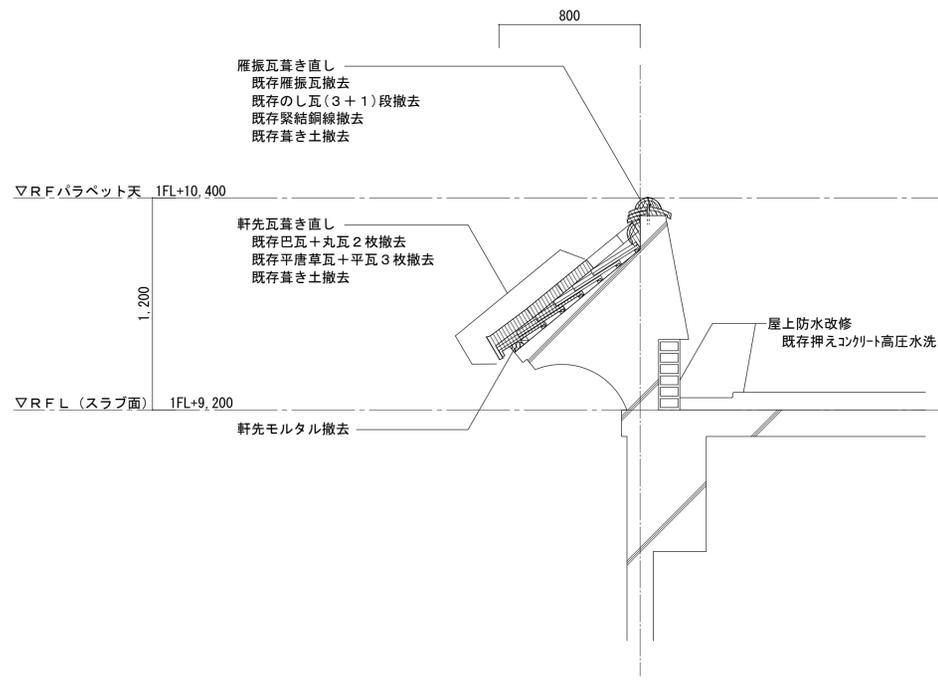
GENERAL PLANNING	
EXECUTIVE DESIGN	

株式会社 平島弘之 + TEAM28
HIROYUKI HEISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES

TITLE 美馬市地域交流センター瓦改修その他工事(2期工事)	DATE
DRAWING 部分詳細図 1	SCALE 1:30・1:10
CHECK	NO. A-17

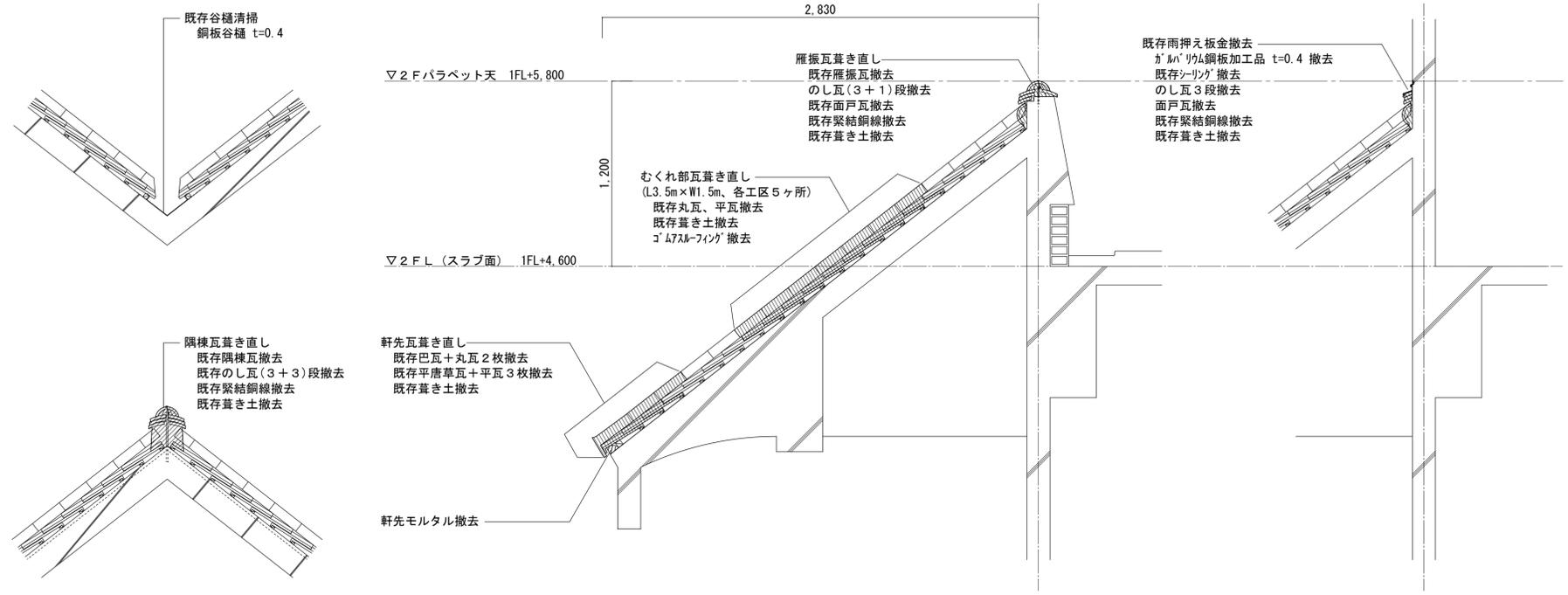
R階パラペット詳細図 (改修前)

1 / 20



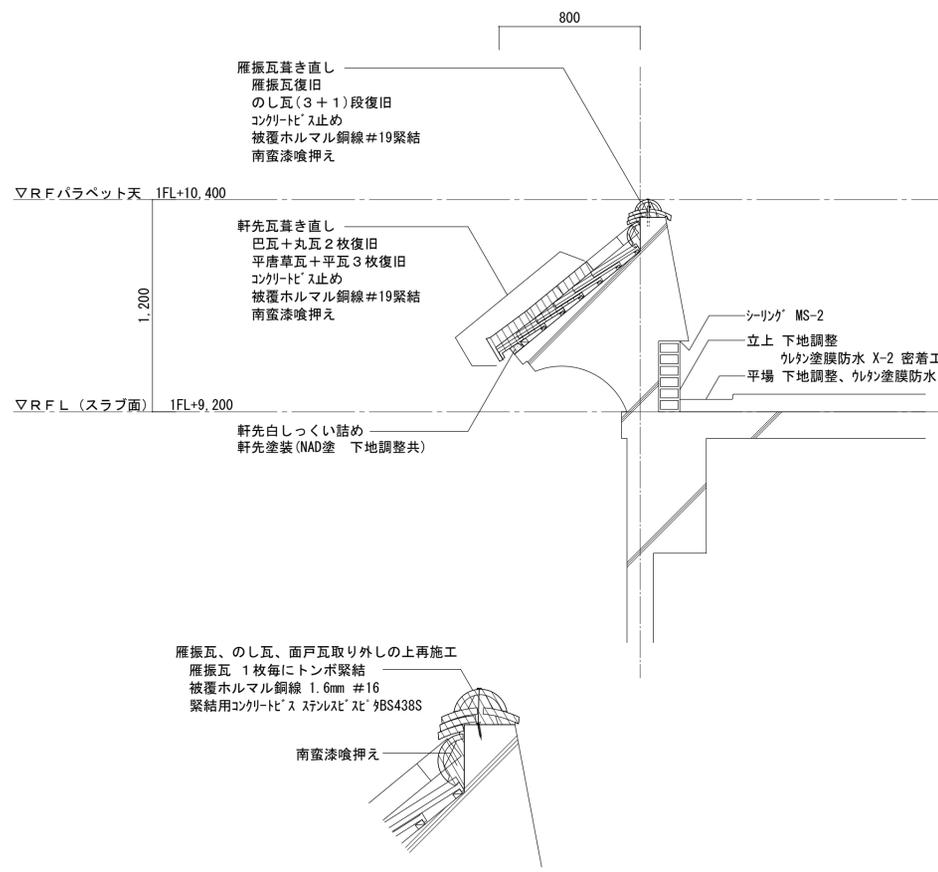
2階パラペット詳細図 (改修前)

1 / 20



R階パラペット詳細図 (改修後)

1 / 20

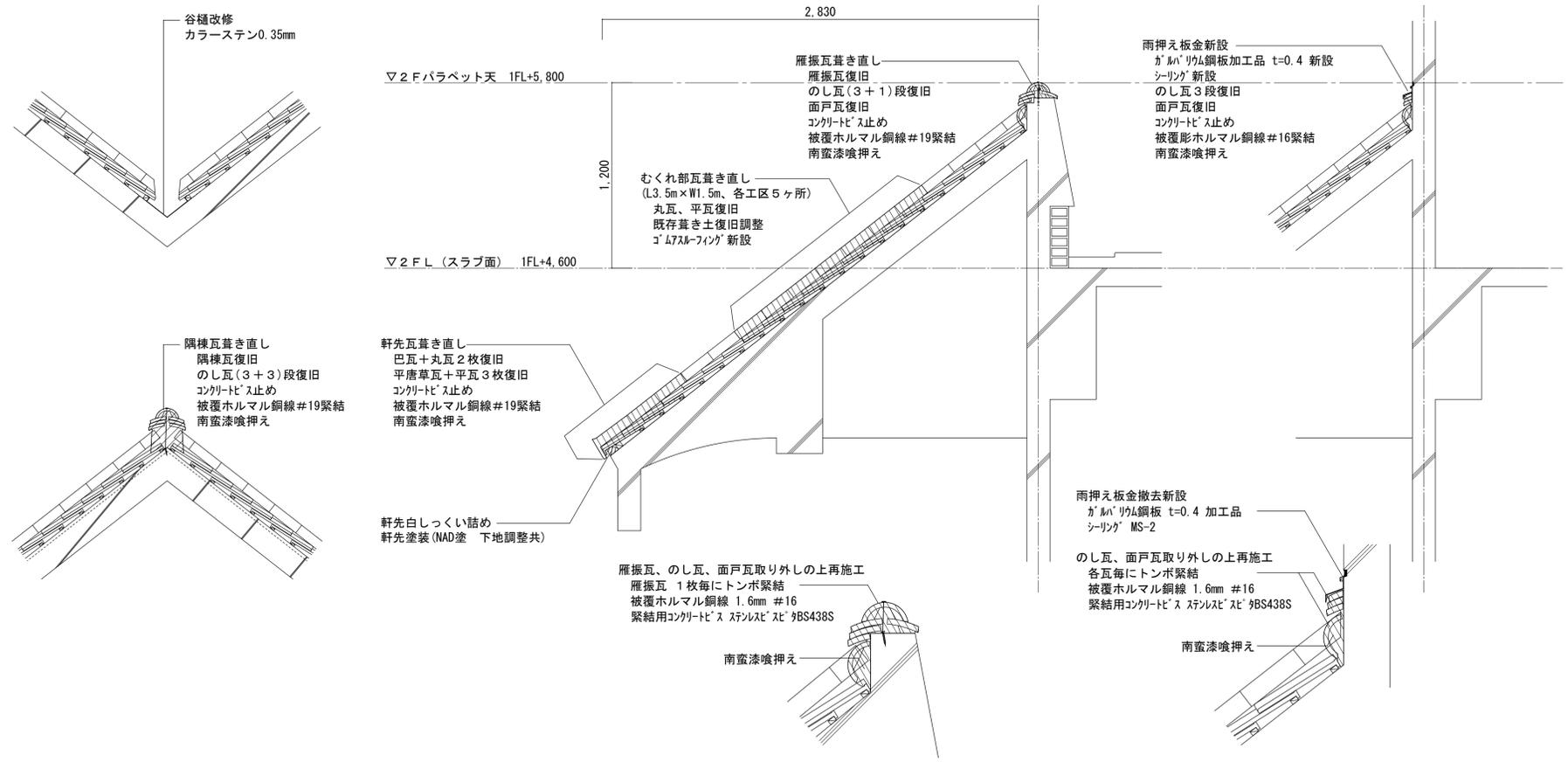


雁振瓦改修詳細図 1/10

※既存瓦の80%を再利用

2階パラペット詳細図 (改修後)

1 / 20



雁振瓦改修詳細図 1/10

※既存瓦の80%を再利用

雨押え瓦改修詳細図 1/10

※既存瓦の80%を再利用

GENERAL PLANNING	
EXECUTIVE DESIGN	

<p>株式会社 平島弘之 + TEAM28 HIROYUKI HEISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES</p>	TITLE	美馬市地域交流センター瓦改修その他工事 (2期工事)	DATE
	DRAWING	部分詳細図 2	SCALE
	CHECK		NO
			1:20・1:10
			A-18